

国内クレジットアイデア事例集
100選

平成20年10月21日

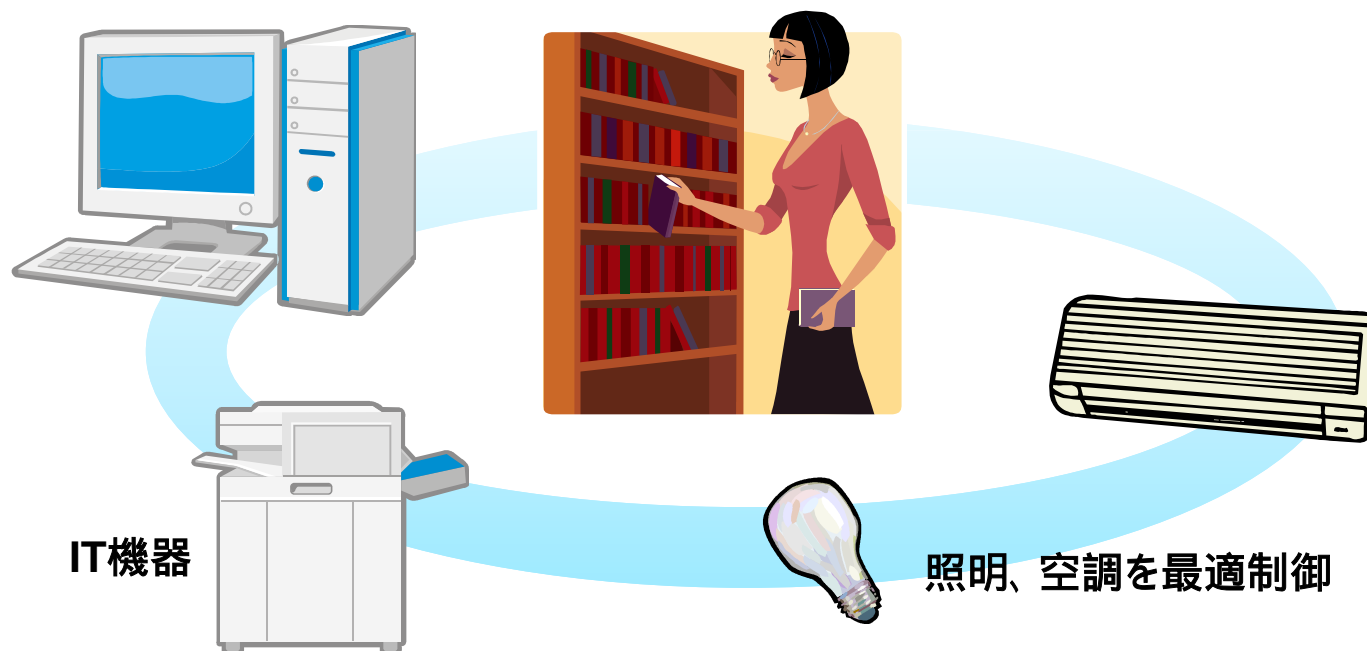
公共部門

公共施設における事例

図書館におけるエネルギー管理システム導入

エネルギー管理システムを導入し、図書館内の照明、空調、熱源、IT機器等をコンピューターで最適制御し、省エネを図る。

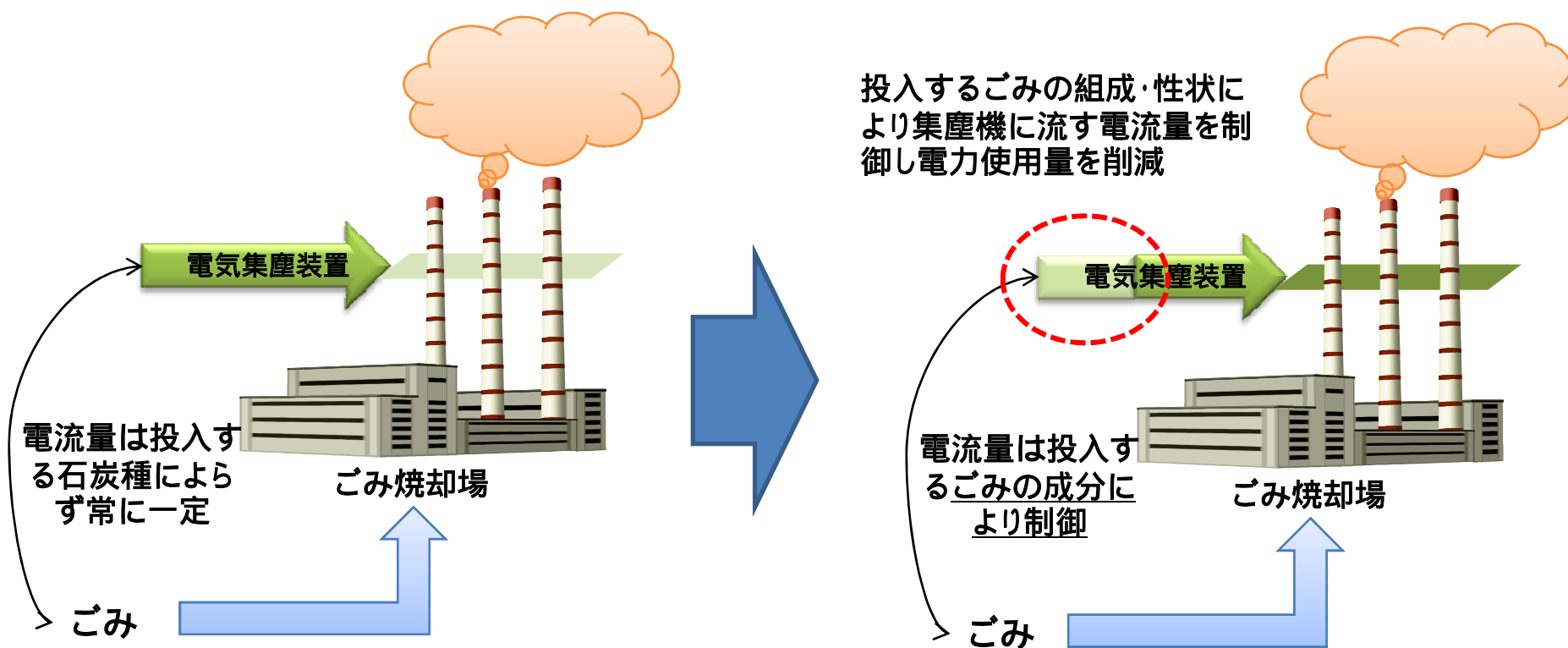
エネルギー消費機器をコンピューターで制御し、最も省エネルギーになるように管理する



排出削減量 = 従来の温室効果ガス排出量
- エネルギー管理システム導入後の温室効果ガス排出量

ごみ焼却場における電気集塵機装置の適正運転

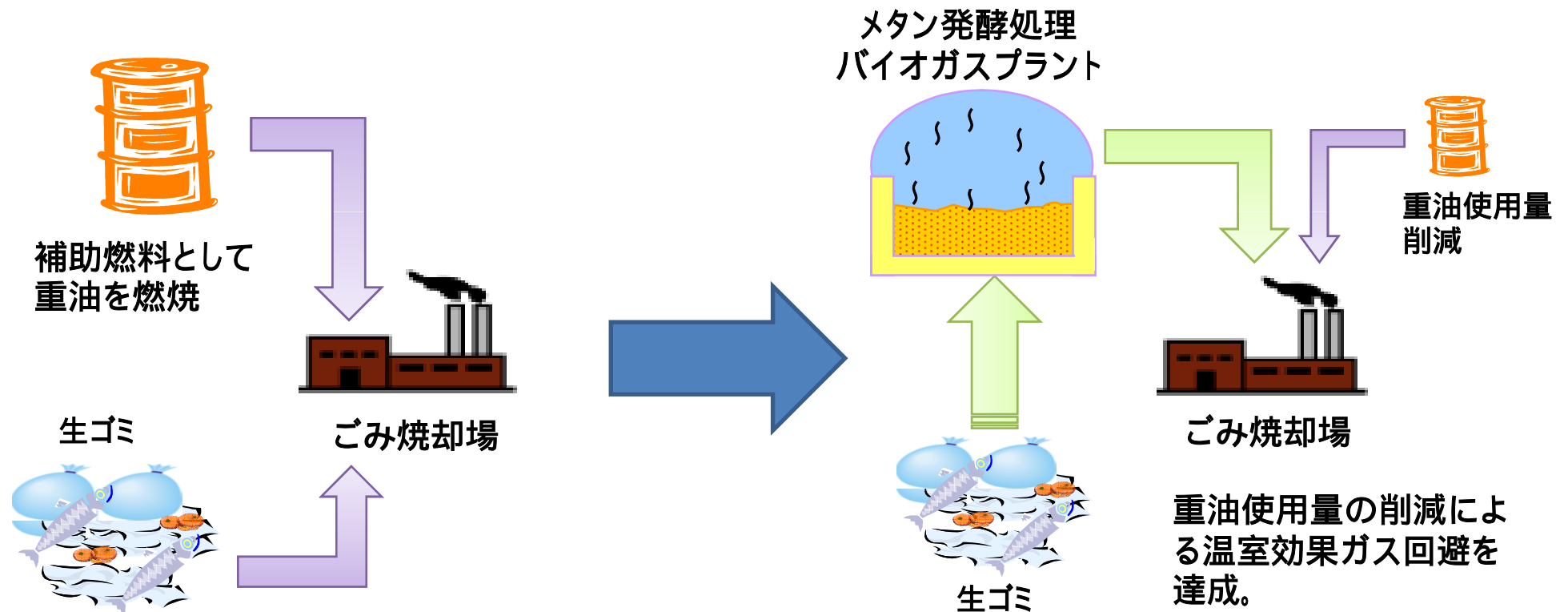
ごみ焼却場の排気設備末端に設置されている集塵機の電流量を、燃烧しているごみの成分に応じて調整し、電力使用量を削減



$$\text{排出削減量} = (\text{電流量調整前の電力使用量} - \text{電流量調整後の電力使用量}) \times \text{排出係数}$$

ごみ焼却場におけるバイオガスの利用

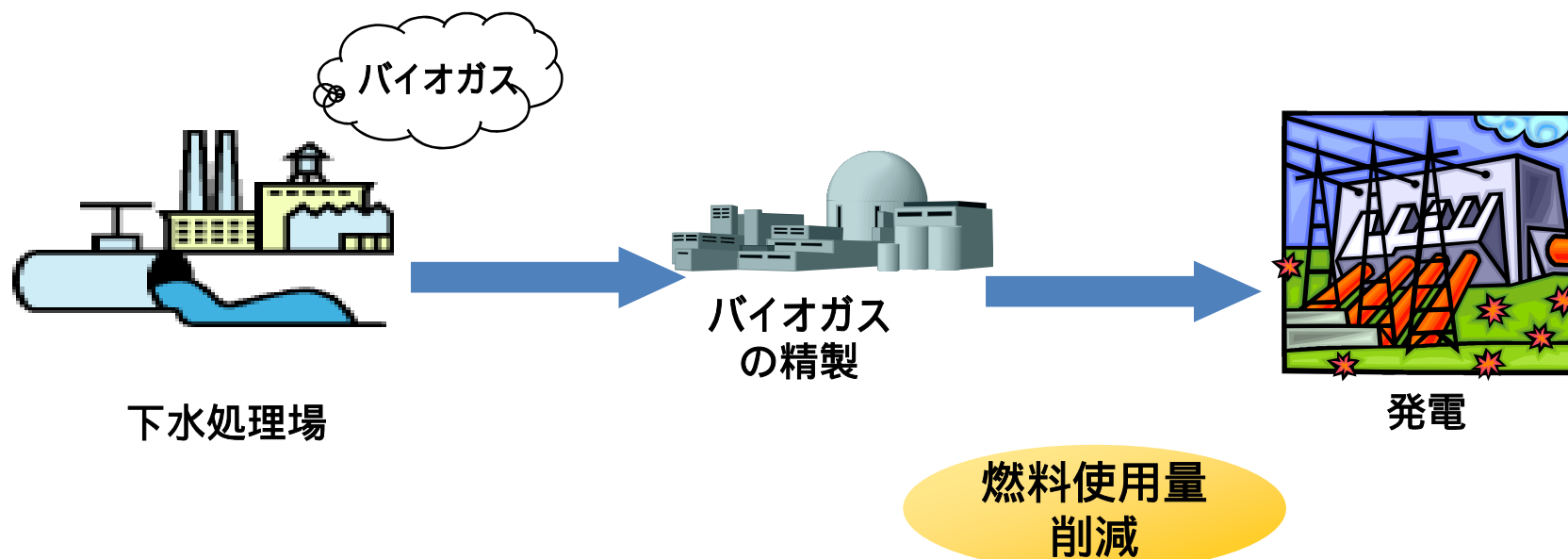
現状では、高カロリーごみ(紙ごみ、廃プラスチック等)が分別され、残った生ゴミのカロリー不足を補うため、ごみ焼却場では重油等を補助燃料として利用
新たに生ゴミをバイオガスプラントでメタン発酵処理することにより、補助燃料使用量を削減



排出削減量 =
従来設備での燃料使用に伴う温室効果ガス排出量 -
バイオガスを併用した場合の燃料使用に伴う温室効果ガス排出量

下水処理場におけるバイオガス発電

現状では、下水処理場においてメタン発酵により下水汚泥を減容化処理
下水汚泥は性状が安定しており、一カ所にまとまって発生するため、利用効率が高い。
下水汚泥を嫌気発酵させて取り出した消化ガス(バイオガス)を精製して高純度のメタンガスを
製造し、バイオマス発電を実施



排出削減量 =
従来設備での燃料使用に伴う温室効果ガス排出量 -
(バイオガスを併用した場合の燃料使用に伴う温室効果ガス排出量 + リークage 排出量)